

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハーティワン		
○保護者評価実施期間	2025年 1月15日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 1月15日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解して、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析できている。また、そのうえで具体的な支援内容が設定された個別支援計画を作成し、保護者に提示することが出来ている。	アセスメントやモニタリング等を通じて、子どもの実態や保護者の困りごと、考え方を把握している。それを踏まえて保護者とともに方針を決め、個別支援計画に反映させている。	アンケートでは高い支持率であったが、この結果に慢心せず、これからも十分なアセスメントやモニタリングの機会を設け、実態や方針の共有を怠らない。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況についての共通理解ができている。また、定期的な面談や子育てに関する助言等の支援を行っており、職員から共感的に支援をされていると感じている保護者が多い。	送迎や連絡帳等で子どもの状況を日頃から共有するようにしている。そのほかにモニタリングで保護者から近況報告や悩み等を聞き、助言等の支援をしている。また、これらの内容を職員間とも共有して周知している。	引き続き保護者との関わりを大切に、日頃の子どもの状況を見逃さないように意識する。また、職員間の共有も怠らずモニタリング等で情報共有をできるようにする。
3	全体的に満足度の項目の支持率が高く、子どもは安心感を持って過ごしており、通所を楽しみにしている。	施設内で過ごしやすいように視覚支援のものや個室を確保している。また、祝日等では積極的にお出かけや調理実習などを行い、新しいことに挑戦する機会を設けている。その他、上記にもあるように子どもだけでなく保護者との関わりも大切にしている。	改善できることは積極的に行い、活動などはマンネリ化しないようにする。アンケート結果から施設の課題点に目を向け、対策を考えていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域でほかのこどもと活動する機会、父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による保護者同士の交流の機会が設けることができていない。	現時点で個人情報保護の観点や感染症対策のため交流や集会の場は設けることができていないが、公園や外出の際に地域のほかの子どもと交流ができる場合はしている。	可能な範囲で地域のほかの子どもたちと今後も関わっていく。保護者同士の交流を実施していくことは現段階では難しいが保護者からの希望等があれば個人情報の保護、感染症予防に留意して検討していく。
2	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関することをこどもや保護者に対しての発信についての周知が足りない。	ブログで活動後について掲載はしているが定期的とはいえない。また、ブログに関する保護者への周知が足りない。行事予定に関しては紙ベースで配布したり、活動後の概要は連絡帳や送迎等で情報共有をしている。	発信した際に保護者へ報告などをしてブログの周知を行い、定期的に取り組めるように検討していく。現在行っている行事予定の紙配布や活動内容の概要は引き続き、連絡帳や送迎等で実施し、改善する必要があるらばその都度行う。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているが周知が足りない。	定期的に訓練等を実施曜日が被らないように配慮して行っているが、実施日に当たっていない子どもの保護者には周知が足りない。	継続して定期的に訓練を行い、訓練日に来所回数が少ない子ども等を優先して日程を調整する。